

# SHUN SUDO

2020 Dec. 10 - Dec. 27

ANB Tokyo 3F and 6F

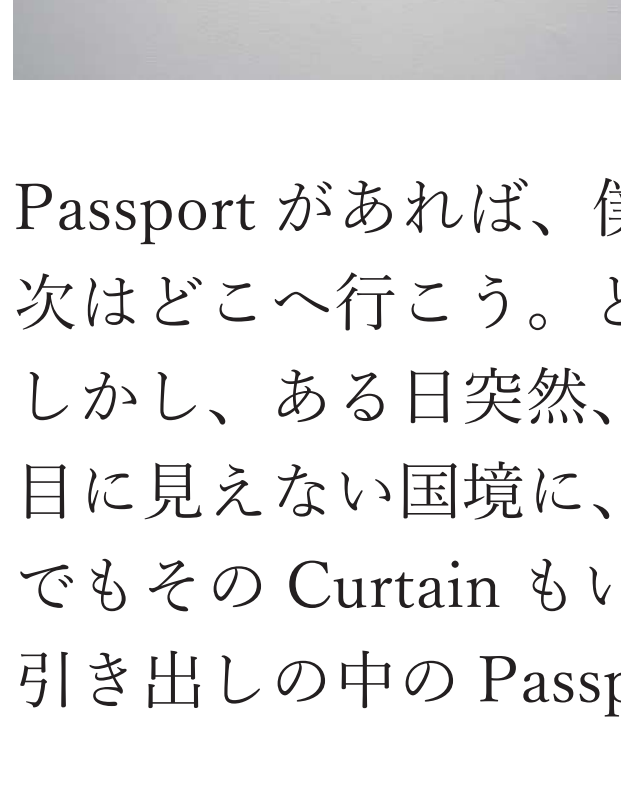
作品解説 by SHUN SUDO STUDIO



## California Love

Acrylic on canvas  
2020  
90 × 90 × 3 cm

2020年1月、突然この世を去ったBasketball PlayerのKobe Bean Bryant。彼を敬愛するShun Sudoが、心からの弔意と感謝をこめて描いた1枚。2輪の花はKobeと、ともに亡くなった彼の娘。2輪が重なり合うことで、彼の永久欠番「8」の形を表している。茎の部分のShoelacesは、もうひとつの永久欠番「24」、そして「LA」。紫の花の中心は、よく見るとBasketballになっている。



## Access All Areas

2020  
40.6 × 30.7 × 5 cm

Passportがあれば、僕らはいつでも地球上を旅することができた。次はどこへ行こう。どんな旅をしよう。どんな出会いがあるだろう……。しかし、ある日突然、僕らは旅をする権利を、自由を奪われた。目に見えない国境に、目に見えないCurtainがかけられた。でもそのCurtainもいつか開くはず。また自由に旅できる日が来るはず。引き出しの中のPassportもその日をきっと心待ちにしている。



## Heartshaking 1

Acrylic on canvas  
2020  
80.3 × 80.3 × 3 cm



## Heartshaking 2

Acrylic on canvas  
2020  
80.3 × 80.3 × 3 cm



## Heartshaking 3

Acrylic on canvas  
2020  
80.3 × 80.3 × 3 cm

雑踏を歩く人々はみなMaskをつけている。互いに距離をおき、ともすれば疑心暗鬼におちいりそうな日々。それでも彼らは心のなかで希望という名の花を咲かせながら、いまを生きる。語り合い、笑いあえる日を、“Social Distance”なんて言葉がなくなる日を待ちながら。



## BUTTON FLOWER\_2020\_01

Acrylic on wood  
2020  
80 × 75.2 × 5 cm

世界地図を描いた一枚の生地があったとしよう。真ん中に描かれているのは大西洋。右にあるのはEuropa、左にあるのがAmericas。これが世界の標準だ。日本列島が描かれているのは、右端、まさにFar East。でもこの生地でJacketをつくったとしたら、背中が大西洋で日本は正面でButtonになる。はなればなれの2つの生地をひとつに留めるButton。それがあらわすのは、絆そして未来への希望。SHUN SUDOが繰り返し描いてきたこの花のMotifには、そんな祈りにも似た彼の思いがこめられている。



## Flyaway

Acrylic on canvas  
2020  
60 × 60 × 3 cm

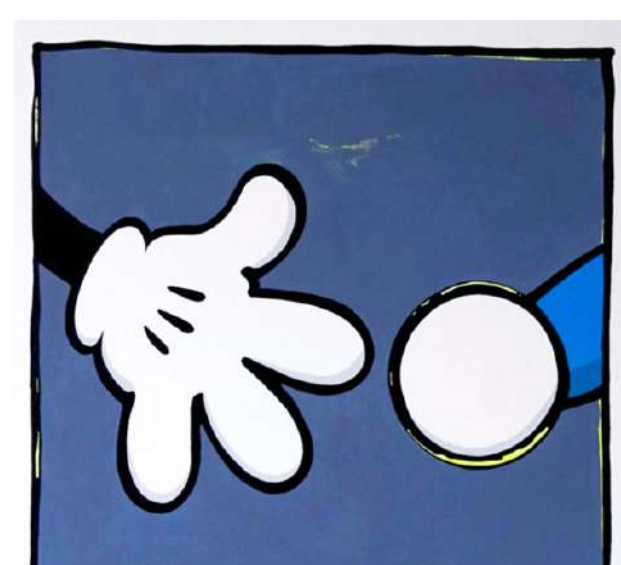
空に浮かぶBalloon。地球にも似たその球体は、楽しい雰囲気を見せながらどこか危なげにも見える。その理由がわかるのは、絵を上下逆さまにしたとき。楽しげだったBalloonが、導火線のついた爆弾に姿を変える。僕らが暮らすこの星はいま、そんなギリギリのBalanceの上にあるのかもしれない……。



## Carry The Day

Acrylic on canvas  
2020  
75 × 75 × 3 cm

Ecologyの名のもとに、Life Styleが変化していく。でもそこに“真実”はあるのだろうか？ Plastic？ Nylon？ Fabric？ 大事なことは、それがどんな素材なのかではなく、そこになにを入れ、なにを考え、どんなふうにいるかということ。



## Are You Ready?

Acrylic on canvas  
2020  
60 × 60 × 3 cm

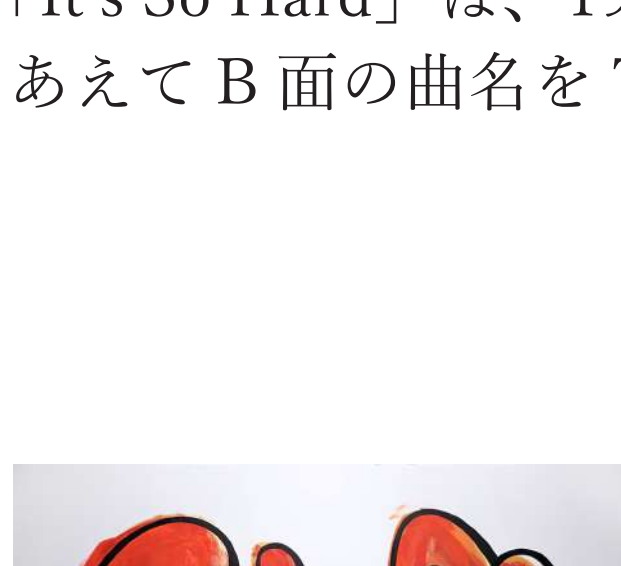
超大国の選挙に世界が注目した2020年。白いGlovesをつけた小粋なネズミと極東生まれの猫型Robotの関係にもなんらかの変化が訪れるのだろうか？ 新しい年、新しい世界、新しい関係に向けて、“Are You Ready?”



## It's So Hard

Acrylic on canvas  
2020  
130 × 97 × 3 cm

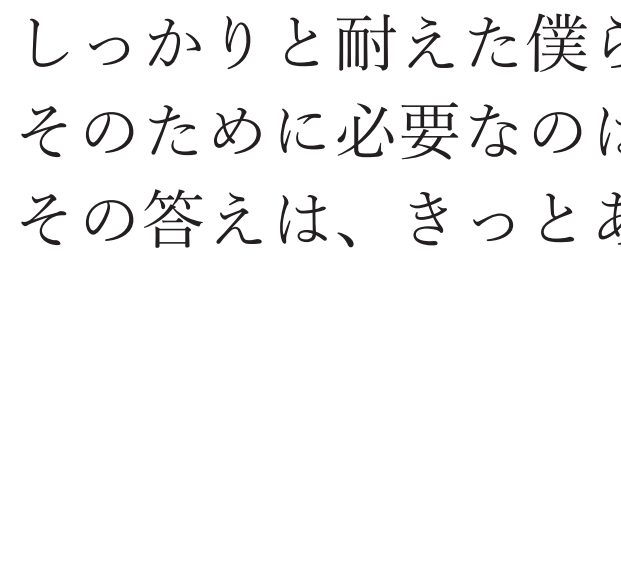
その絵は現代の“Guernica”なのかもしれない。COVID-19が、世界を変えた2020年。見えぬ敵の前にもものしい武器は、もはや意味をもたない。不安、混乱、怒り、悲しみ……それでも世界は、希望の音楽を奏でる。John Lennonは、世界を思い「Imagine」を歌った。SHUN SUDOは、世界を思いこの絵を描いた。「It's So Hard」は、1971年に発売された「Imagine」のCoupling Song。あえてB面の曲名をTitleにした、画家の思いを感じてほしい。



## And ?

Acrylic on canvas  
2020  
116.7 × 910 × 2.5 cm

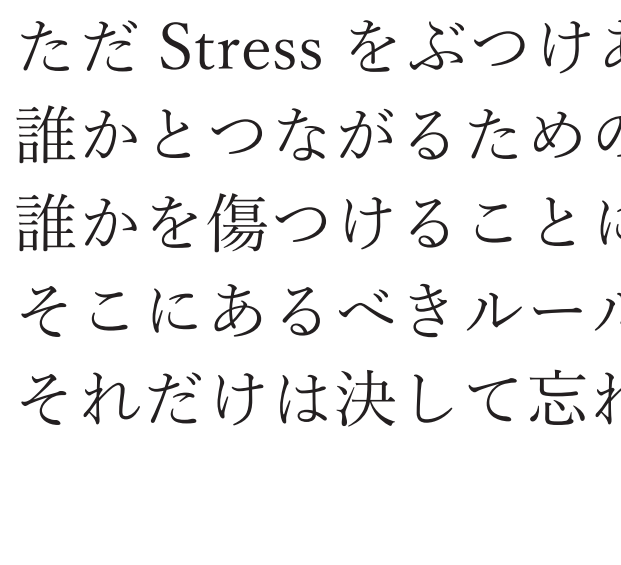
その4つのAlphabetがどれだけ僕らを励ましてくれただろう。物理的に離れていたとしても家族の、恋人の、友人の、仲間の、LOVEに力をもらった。でも次に向かうには、それだけでは足りない。しっかりと耐えた僕らは、いま未来に向かう。そのために必要なのはLOVEと、そして「？」。その答えは、きっとあなたのなかにある。



## Queensberry rules

Acrylic on wood  
2020  
80 × 38 × 5 cm

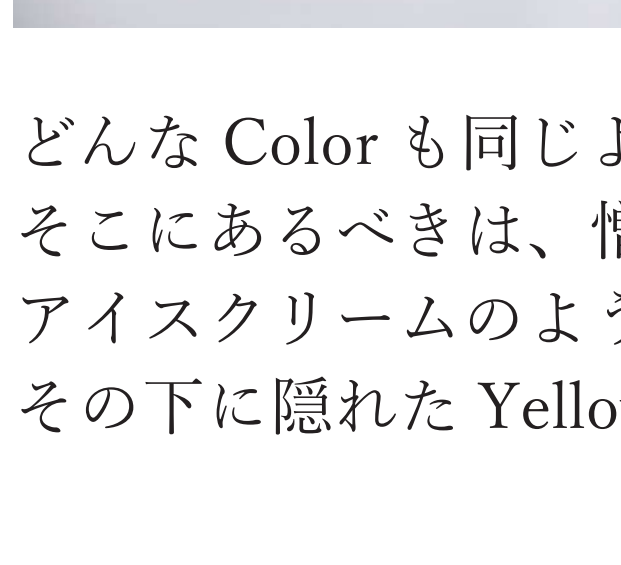
MoralもRuleもないSNS上の罵り合い、殴り合い。ただStressをぶつけあうことをCommunicationとは呼ばない。誰かとつながるためのTechnologyが誰かを傷つけることになるなんてあまりにも悲しすぎる。そこにあるべきルールは、LOVEとRESPECT。それだけは決して忘れないでほしい。



## New Normal Temperature

Acrylic on wood  
2020  
47 × 80 × 5 cm

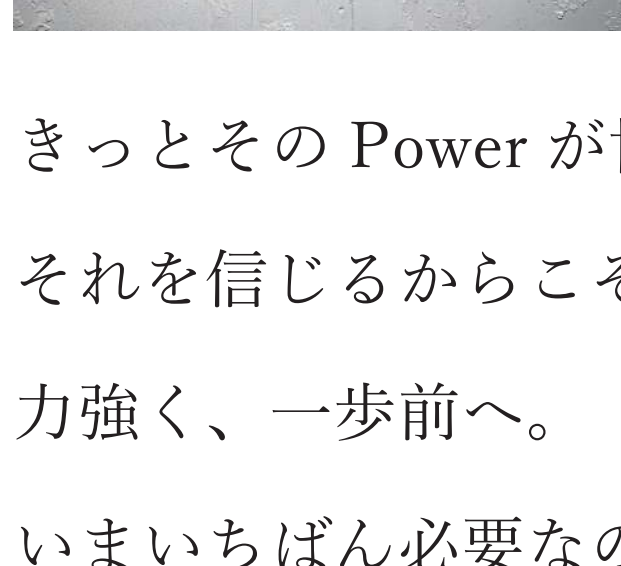
どんなColorも同じように美しく、同じように尊い。そこにあるべきは、憎しみや対立ではなく、LOVE&PEACE。アイスクリームのように溶け合えば、もっとSweetになるはず。その下に隠れたYellowのConeの存在も決して見逃してはならない。



## LOVE\_2020\_01

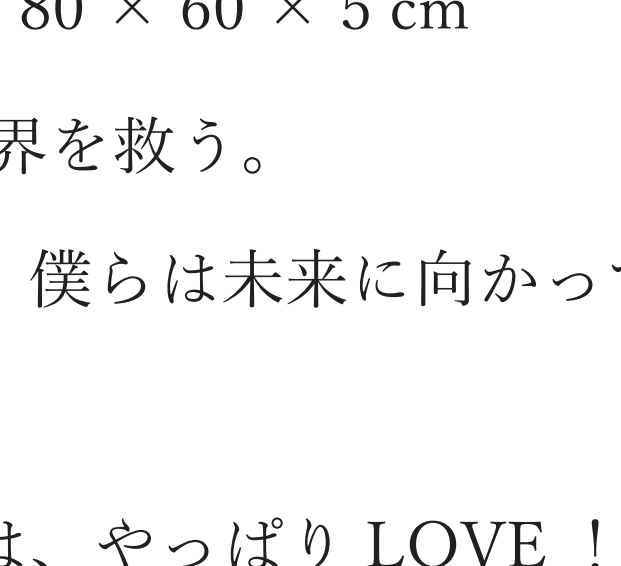
Acrylic on wood  
2020  
80 × 60 × 5 cm

きっとそのPowerが世界を救う。それを信じるからこそ、僕らは未来に向かっていける。力強く、一歩前へ。いまいっばん必要なのは、やっぱりLOVE！



## VOICE 1

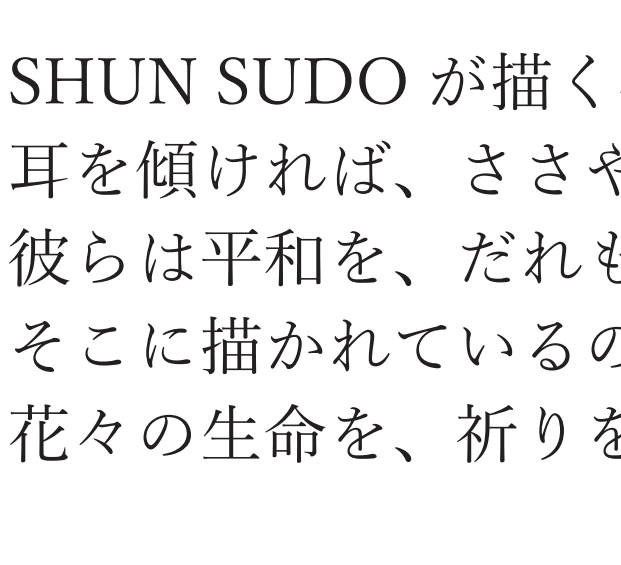
Acrylic on canvas  
2020  
162 × 130.3 × 3 cm



## VOICE 2

Acrylic on canvas  
2020  
162 × 130.3 × 3 cm

SHUN SUDOが描く花は、生命を宿しているかのようだ。耳を傾ければ、ささやくような、歌うような、花の声が聞こえてくる。彼らは平和を、だれもが笑顔で過ごせる日々を願う。そこに描かれているのは、単なる花というカタチではない。花々の生命を、祈りを感じてほしい。



## Tempo Rubato

Acrylic on canvas  
2020  
100 × 100 cm

2019年、スターバックスリザーブプロースタリー東京にて行われた、SHUN SUDO、フルート奏者 藤枝伸介、東京スカパラダイスオーケストラ谷中敦によるセッションによって生まれた作品。トップアーティストによる即興演奏から受けたインスピレーションは今までにないSHUN SUDOの画力と感性を引き出した。完成から非売品となっていたが、本個展では購入可能となっている。